

公立大学法人青森公立大学

令和元年度 業務実績評価書

令和2年8月

青森市地方独立行政法人評価委員会

目 次

I	評価の基本的な考え方等	1 頁
II	全体評価	
1	総評	3 頁
2	業務の実施状況	3 頁
3	組織、業務運営等に係る改善事項等	3 頁
III	項目別評価	
1	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（教育）	4 頁
2	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（研究）	4 頁
3	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（地域貢献）	5 頁
4	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	5 頁
5	経営・財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	6 頁
6	自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置	6 頁
7	その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置	7 頁

I 評価の基本的な考え方等

青森市地方独立行政法人評価委員会は、地方独立行政法人法第78条の2の規定に基づき、公立大学法人青森公立大学（以下「法人」という。）の令和元年度における業務実績について評価を行った。

評価の実施に当たっては、当評価委員会が定めた「公立大学法人青森公立大学事業年度評価実施要領（平成22年3月30日決定）」に基づき、法人の年度計画に定めた事項ごとにその実績等を明らかにした業務実績報告書及び法人への聴取等に基づき調査・分析を行うとともに、その結果を踏まえて「項目別評価」及び「全体評価」を行うものである。

1 項目別評価

中期計画に掲げる次の事項（以下「大項目」という。）ごとに、中期計画の達成に向けた業務の進捗状況及び特記事項の内容を総合的に勘案して、5段階により評価する。なお、教育研究については、その特性に配慮し、専門的な観点からの評価は行わず、事業の外形的な進捗状況を評価する。

【大項目】

- ①教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（教育）
- ②教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（研究）
- ③教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（地域貢献）
- ④業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置
- ⑤経営・財務内容の改善に関する目標を達成するための措置
- ⑥自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置
- ⑦その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置

【5段階評価】

- 5：中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。
- 4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
- 3：中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある。
- 2：中期計画の達成のためには進捗がやや遅れている。
- 1：中期計画の達成のためには進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある。

2 全体評価

項目別評価の結果を踏まえ、令和元年度における業務実績の全体について、記述式により市民にわかりやすい表現等に努めながら総合的な評価を行う。また、必要がある場合は、法人に対する業務運営の改善その他の勧告事項を記載する。

3 青森市地方独立行政法人評価委員会委員

区 分	氏 名	役 職 等
委 員 長	若井 敬一郎	青森商工会議所会頭
委 員 (委員長職務代理者)	藤本 幸男	公立大学法人青森県立保健大学理学療法学科特任教授 地域定着推進特命部長
委 員	西谷 俊広	日本公認会計士協会東北会青森県会会員
委 員	佐々木 知彦	(株)青森銀行 取締役専務執行役員
委 員	内山 清	青森中央学院大学大学院地域マネジメント研究科 研究科長

Ⅱ 全体評価

1 総評

公立大学法人青森公立大学は、教育・研究の一層の推進と活性化を図ることにより、青森市の発展のために必要とされる有為な人材の輩出と、大学が持つ知的財産を市民に還元し、経営経済をはじめとする各分野において、青森市が掲げる施策の推進に貢献し、市民の生活及び文化の向上に寄与していくことを使命としている。

第2期中期目標期間（平成27年度から令和2年度まで）の5年目となる令和元年度は、教育・研究の質向上に関する多くの取組を実施し成果を上げていること、大学院の入学者数も増加してきていること、地域貢献も着実に推進されていることなど、多くの点で高く評価できる。

特に、就職率については、目標値96%に対して、ここ数年99%を上回る高い実績を維持しており、学生の就職活動への高い意識と大学側の支援が成果を上げていると評価できる。

昨年度評価した事項が着実に実施されたことにより、今後も、青森市が掲げる施策の推進に貢献し、市民生活及び文化の向上へ寄与することが期待される。

よって、令和元年度の年度計画については、中期計画の達成に向けて、ほぼ計画どおりに実施したと評価できる。

2 業務の実施状況

教育研究等の質の向上（教育、研究及び地域貢献）に関して、アクティブラーニング室における授業が、開始当初（平成28年度）の176コマから年々増加し、330コマとなっており、学生の主体的・能動的学習が実施されている。

食堂や売店等のサービス向上に向けたモニタリングやアンケート調査が実施されている。

業務運営の改善及び効率化に関して、適切な業務の確保に係る必要な規程等の制定・改正を行うことにより業務方法書に沿った内部統制システムが整備されている。

経営・財務内容の改善及び効率化に関して、事務・事業内容の検証により、施設管理業務の外部委託が実施されている。

自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供並びにその他の業務運営に関して、学部において、ディプロマポリシー（学位授与方針）に示す学習成果を十分に把握するために成績評価指標システムが構築されており、その他の事項についても着実に実施されている。

3 組織、業務運営等に係る改善事項等

教員及び職員の人事評価については、着実に前進してきており、出来るだけ早期に本格実施されることが期待される。

Ⅲ 項目別評価

1	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（教育）	評価	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
<p>2020年度からの履修証明プログラムの開講に向け関連規程を制定するとともに、同プログラムの入門編としてパイロット講座を実施するなど、大学院における高度専門職業人の育成推進の取組を行っていることは評価できる。</p> <p>学生への支援として、2020年度から実施の高等教育無償化制度に適切に対応したことは評価できる。</p> <p>学生の受入に関して、大学院の定員を確保した点は高く評価できる。</p> <p>大学院課程については、学生に対するキャリア支援の充実と、教育の実施体制及び内容の見直し等を行うことが期待される。</p> <p>全体として、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にあると評価できる。</p>			

2	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（研究）	評価	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
<p>戦略的研究助成事業を実施するとともに、海外研究者を招聘した研究会や専任教員の海外学会への参加により、グローバルな視点からの研究を推進したことは評価できる。</p> <p>青森市産学官連絡会議に参画し、公立大学が中心となり共同研究として「青森市内六大学生の学生生活実態調査」、「共通学生管理システムの研究」を実施するなど、研究水準の向上等に寄与したことは評価できる。</p> <p>平成30年9月に開設されたメディアラボを活用し6講座実施されるなど、教員の研究成果の地域還元が実施された点は評価できるが、今後は、教員の研究成果の地域還元を推進していくため、マスメディアを効果的に活用するなど、積極的に地域への情報発信を行うことを求める。</p> <p>全体として、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にあると評価できる。</p>			

3	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（地域貢献）	評価	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
<p>新たに中泊町と連携協力協定を締結し、「中泊町観光ビジョン策定支援事業」を受託したほか、風間浦村の鮎鱈に関する調査を学生が実施し、その成果を「東北地域ブランド総選挙」で発表するなど、自治体との連携強化を図ったことは評価できる。</p> <p>公益財団法人21あおもり産業総合支援センターと連携し、創業・起業に係る学生向けセミナーを開催したほか、青森市学生ビジネスアイデアコンテストへの出場等、学生の創業・起業意識を醸成したことは評価できるが、地域での創業・起業を目指す方の支援を行うスタートアップラボ事業については、利用登録者数が2人とその活動実績が限られたものとなったことから、今後の本格的な活動が期待される。</p> <p>全体として、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にあると評価できる。</p>			

4	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	評価	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
<p>事務・事業内容の検証により、施設管理業務の外部委託を実施するなど、事務の効率化を図ったことは、評価できる。</p> <p>人事評価については、教員にあっては、評価基準や評価項目等について検討し、次年度の試行案を作成したこと、また、職員については、青森市の制度に準拠した人事評価の試行の2回目を行ったことは評価できる。今後は、教員及び職員共に、早期に本格実施されることが期待される。</p> <p>全体として、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にあると評価できる。</p>			

5	経営・財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	評価	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
<p>研究関連等に係る収入として、受託研究・受託事業等による外部資金を獲得したことは評価できる。今後は、新たな研究領域を開拓しながら、受託研究・受託事業・助成金を増加させることを求める。</p> <p>寄附金の獲得が可能な団体等については、情報収集にとどまらず、資金獲得に努めるよう求める。</p> <p>地域貢献事業や広報関連事業について、事業効果を見極めながら事業の見直しを図ったほか、財務会計システムのマニュアルを整備し、業務の効率化・迅速化を図ったことは評価できる。</p> <p>全体として、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にあると評価できる。</p>			

6	自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置	評価	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
<p>平成30年度業務実績報告書において計画を十分に実施していない項目のフォローアップを行い、公表したほか、評価委員会からの評価結果を踏まえ提案事項等に適切に対応されていると認められる。</p> <p>平成30年度大学基準協会認証評価における課題4項目のうち、3項目について改善されるなど着実な進捗状況にあると評価できる。</p> <p>全体として、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にあると評価できる。</p>			

7	その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置	評価	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
<p>年5日の年休取得の勧奨や、同一労働・同一賃金に伴う非正規職員の待遇改善に係る規則改正等、働き方改革関連法に沿った適正な労務管理を行っていることは評価できる。</p> <p>施設設備の整備・活用について計画的に実施されていると認められ、評価できる。国際芸術センター青森については、その施設機能を学生の修学プログラムや課外活動などにおいて、効果的に活用していくことが期待される。</p> <p>全体として、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にあると評価できる。</p>			